

残暑の厳しい中、お元気にお遇いなされようか。

この度は無事卒業エセートに到り、感謝の言葉を尽せん。本当にありがとうございました。

ちょうど1年前の夏休み、■■は家から外へ一步も出る事もなく、家にとじこもった状態でした。先生との出会いがなければ、今もそのままで状態が続いていたかもしれません。そう思うとゾッとしてます。

■■の不登校は、新しい土地での中学生スタートにおいて、はじめにあうことから始まりました。ストレスから手当たり際でいに物を食べ、嘔吐を繰り返し、そして手の甲などを傷つけるなどの自傷行為も増していました。中1の2学期からはもう学校へは行かないという■■は、身体症状が心配だったので、家族も皆同意して、しばらく休むことになりました。病院でいろいろ検査をしましたが、身体は異常なしでした。そしてカウンセリングも受けようになりましたが、今思うと復学ということには関連では全く意味のないものだ、だと思いま。学校へ行かな宣言をしたものの■■はとても学校を気にしており、私が学校へ行くと一緒についてきました。この調子ならクラスメートが暖かく■■を迎えてくれさえすれば復学できると思いました。そこで少しずつ教室へと足を運ぶようになっていたものの、実際はうまくいきませんでした。

中学2年生になると、クラス替えがあった時に今度は望みをかけました。

環境が変われば行けるようになるのではと思つたのです。ところが最初はよからぬもの、また行きなづく、そしてハサレた。

この頃になると、■■■の不登校について最初はいじめか原因と思つてハサレたが、きっかけがいじめにあつたといふことで、根本のところは■■■の中にある。私たちの育て方にも問題があるのではないかと思ふようになつてしまつた。

ちょうどそんな時に「ログ」で有名な■■■さんからアドバイスをいたしました。■■■さんは幼稚園時代にとても仲良くなつたお友達のお母さんです。長い間連絡を取り合つることはなかったのですが、ここにそこ連絡があり相談にのつていたのです。■■■さんはMixiの復学を果たした親の会のコミュニティにも誘つていただき、そこで「つくこんの同じ経験をしてきた人とも出会えます。■■■さん、■■■さん、■■■さん」の「ログ」の存在についても知りました。多くの人がまずは母親の法律を勉強してからといふが、やっておいて、■■■先生の「」
■■■」という本を読みました。私はこれを読み終えて気分が悪くなつてしまつた。

■■■には9歳離れた兄がありますが、この長男が幼稚園の時から私の児童精神学者の■■■先生の子育てについて学んできました。幼児教育について、金銭的ではある子供の望むことは何でもかなえてあげる方がいい。すると子供は親の愛情を感じとり、親の愛情を感じとった子の自信をもつようになります。外でかんげれる子になります。家と外で子供は違つてます。

ということか私がここで主に学んだことです。優しい口音の [REDACTED] 先生とは違い、ものすごく辛口で、そして頭ごなしに責められていきました。打ちのめされてしまいました。

そこの人からじ意見やアドバイスもいたしまして。そこから私が自分で判断して取り入れなくてはなりませんでした。

そんな時に最後に下り着いたのがペアレンツキャンプでした。水野先生の本を読み終えた時はホ...としました。小学生向けの本ではありましたけれども説得力があり、一つ一つ実践していくと思いました。そして今日に至っているわけですか。まずは今までに学んだ子育てを捨てるところから始めないといけませんでしょ。

私自身を変えるにあたって特に注意したこととは、アクティブリスニグ。

命令・指示・提案をなくすということでした。私は [REDACTED] か何か言うと

すぐに自分の意見と言ってしまうていました。これらは命令・指示・提案にもつながると思います。

[REDACTED] は非難されていくと感じたとともに、下で

しょう。これらは、下でさえ反抗期であるこの年齢の子供にはイヤイヤと

助長されるだけということがよくわかりました。だから、余計なことを

言わな『下の私がから』は極力話しかけない。そしてアクティブリスニグができるようになると常に意識していました。これには会話ノートがとても

役に立ちました。毎日書いて反省の日々でした。そのうちに下さんと

先生に直されなくても自分でどうすればよかっただのかがわかるようになりました。

今でも予測のつかないことを言われたりすると、アクティブリスニグで

くずれこしうかがうでですか。冷静は一呼吸ふひご用心ごころのように
ならなければならぬ、と思つてあります。

また、以前の私でしたら、うれしげに帰宅して■■にテレホン。『今何時?』と
思ふ、この『』と怒り、口調で言つていました。返つてくる言葉は反発でした。
ところが今は、バ配れていたという気持ちをそのまま伝えられるようになりました。
『帰りが遅く母の心配でしたよ』と言うと、申し訳なさそうに返事が
返つてきます。アイメーラージの大功をも教えていました。他にも
こんな学ばせて貰いました。書ききれません。

■■が中学2年生であったために、しっかりと家庭の用心が整う前に
コーチングをして貰いました。復学へと導いて貰いました。あの時から
魔法がかかってるように■■は学校へ戻るニヤヤでいました。その後困難
にも何回かぶち当たりましたが、先生のアドバイスのおかげで乗り切り。
今は学校が当たり前となり、友達もたくさん得ることができました。
親である私共にも足りないところが多くあります。特にもかかわらず、とても
具体的に、そして的確なアドバイスをして貰いました。今■■が
ここにあるのは先生のおかげです。

そしてこの■■は受験生であるにもかかわらず、勉強量はとても少ない
です。けれども少しずつでもみが意識し、意欲も出てきていると思います。
きっと■■に適した高校があると思いますし、今の■■だったら乗りこえ
いい子と思うことがあります。この時期に卒業させて貰ってほしいですが、
良い報告ができるればと思います。

No.5

これから [] は上の学校へも進学し、社会人になっていくのですか。
水野先生から学んだ親のあり方を忘れず、[] を見守、いろいろと
思ってあります。

今まで本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

かして

水野 先生へ

H. 22. 8. 29 (日)

手紙

